

平成28年5月23日

札幌チャレラジオ通信 第20回

佐藤：三角山放送局をお聞きの皆さん、こんにちは。

札幌チャレラジオ通信の時間です。この番組は自立を目指す障害のある人がITで、マザル、ハタラク、拓き合う社会を作りたいとの思いで活動をしている私たち札幌チャレンジの活動内容をお伝えしています。

本日のパーソナリティーは札幌チャレンジで就労支援を担当しています、私佐藤美貴と千葉で番組を進めていきます。

千葉さんよろしくをお願いします。

千葉：はい。よろしくお願いいたします。

佐藤：千葉さんと私の組み合わせって今日で2回目。

千葉：そうですね、今日で2回目です。

佐藤：前は3月14日、私になにかくれましたっけ。

千葉：あ、...

佐藤：今からでも遅くないと思います。よろしくをお願いします。

千葉：はい。よろしくお願いいたします。

佐藤：千葉さんの声があまりにもちょっと素敵すぎて私の周りにも若干数名のファンができましたけど。

千葉：いえいえ、もう恐縮な限りでございまして、慢性鼻炎なのですが、今日もしっかり務めていきたいと思ってますので、はい。よろしくをお願いします。

佐藤：お願いします。

毎回、札幌チャレラジオ通信では多彩なゲストの方にお越しいただきお話を聞かせてもらってます。

千葉：そうですね。はい。

佐藤：今日はですね、私たち就労グループのなかから2人の方に来てもらいました。

私たちと一緒にラジオをお聴きの皆さんに札幌チャレンジの働き方についてお話していただこうと思ってます。

千葉さんさっそくゲストの法紹介お願いいいいますか。

千葉：はい。今日のゲストはですね、就労グループで活躍しているベテラン選手の神田さんですね。

それともう一方、ラジオネーム、りんごさん。

お二人です。今日はよろしくお願ひします。

神田：よろしくお願ひします。

りんご：よろしくお願ひします。

千葉：はい。今日はね、15分15分っていうことで、前半後半でこの就労グループに、札チャレに務めている原点とそして今と将来みたいな感じでお話がね聞けたら。

佐藤：早大だよねえ。

千葉：そうだね、壮大な感じになっちゃいますねえ。そんな感じでお話を進めたいなと思ってます。

佐藤：早大な感じになってる。

千葉：まずお二人に自己紹介をしていただいて札チャレとの出会いと、あと、ご自分で持っている障害がどんな障害なのかっていうことを教えてください。

佐藤：ではまず神田さんから。

千葉：はい。ではまず神田さんからお願ひします。

神田：神田です。私が札チャレと知り合った、出会ったのはですね。新聞記事で見た仕事紹介のメールマガジンが最初ですね。

それに応募して最初は、だいぶん前の話だから。

佐藤：仕事の内容。画像の切り抜きのやつ。

神田：その前なのですよ。なんて言ったらいいんだろう。

千葉：神田さん、もう長いベテランなので。

佐藤：いっぱいありすぎて分からなくなっちゃったかも。画像関係。

神田：そのときは、なんだったかなあ。だいぶん前の話だから。

千葉：聴いてる皆さんどれくらい前なんだと思うかもしれませんが、神田さんは札チャレに務められてもう8年ですね。

佐藤：うん。8年

神田：もう8年になりましたか。

佐藤：8年前の記憶を頑張って思い出そうとしてます。

千葉：ほくも難しいですね。

神田：最初はテープをデータ化するというところだったかな。

佐藤：うんうん。思い出しました。

神田：はいはい。思い出しました。

千葉：なるほど。ありがとうございます。そうですか、そうですか。

佐藤：それでいいの、話。

千葉：神田さんの持ってらっしゃる障害についてを自己紹介も兼ねてということで。

神田：私の障害は筋肉がちょっと落ちてくってという障害で両手両足と体幹がちょっと弱ってきてるという状態ですね。

千葉：なるほど、そうですか。どうもありがとうございます。こんどは、では、りんごさんの札チャレとの出会いと障害についてということで教えてください。

りんご：まず札チャレとの出会いは。

佐藤：うん。

りんご：以前からお世話になってた障害者相談支援事業社という団体の方がいるのですが、その方と当時ニートだった私と一緒にでは、仕事を探しましょうっていうことになっていろいろな作業所を見学して一番札チャレが好きだったのではこちらに決めますということで決めたのが出会いです。

千葉：なるほど、そうでしたか。出会いの部分がそういう感じだったのですね。いろいろなところに行かれたって言ってましたけども、どれくらいの数、事業所を見て回ったのですか。

りんご：6ヶ所くらいは

千葉：6ヶ所くらい。

りんご：はい。見ましたね。はい。

千葉：札チャレもいつも見学に来られたりって方がねたくさんおられますけれども、そうやって探していくなかで出会いがあったということなのですね。りんごさんのもっている障害については。

りんご：私の障害は不安障害という障害で、些細なことで落ち込んだりとか、後は他人の笑い声とかこそそそ話などが自分の悪口のように聞こえたりとか、そういった日常ですぐ不安を感じてしまうような障害ですね。

千葉：なるほど。そうですか。

どうもありがとうございます。神田さんとりんごさんですけれども、今担当されている仕事があると思うのですけれども、どのような仕事を担当しているか、あと仕事の内容について教えてくださいませんか。お願いします。

では神田さんから。

神田：以前はですね、ショッピングサイトに掲載する画像の作成とか、その商品情報の登録をやってまして、今後今その仕事がちょっとなくなってる感じで今後は、海外旅券のデータの確認と更新作業と、今年公示された指針の改正で、高齢者も障害者も健常者と同じようにホームページを閲覧できるようにしなきゃいけないということで、それでホームページがそれにガイドラインにのっとっているかっていうのをチェックするような業務になります。

千葉：それが、新しい仕事ですかね。

神田：そうですね。はい。

千葉：なるほどなるほど。今官公庁のサイトだとか公に公開しているサイトって、皆さんの見やすさっていうのをすごい追及されていますもんね。

感だ：はい。

千葉：なるほどなるほど。そうですね、分かりました。では、りんごさんの担当されている仕事と仕事の内容を教えてください。

りんご：今メインでやってる仕事は、動画サイトの監視業務をやっていて、そのほかにデータ入力なども行っています。

千葉：データ入力ってどんな感じのデータ入力なのですか。

りんご：excel を使ったりして、データを打ち込む作業ですね。

佐藤：前回ゲストに来ていただいた、調和技研さん。あれの仕事かな。

千葉：そうですね。ピモールズのイベントの情報発信の業務をやっていただいていますよね。どうもありがとうございます。

さあ、どうでしょう。

佐藤：何かやりがいとか。

千葉：やりがいとか、仕事の意欲とか、そういうところの話をすこししていけたらなと思っているのですけれども。

神田さんどうですか。本当に長く勤められてきて本当に大ベテランという位置かと思うのですけれども。

神田：長いことやってきたので、いろいろな仕事をして来ているのですが、通ってできる仕事だけではなくて、在宅でも仕事ができるので、多分普通の企業だとそうはあまり行かなくなるので、そういったことで働けてるってことが生きがいというかそんな感じですかね。

千葉：神田さんの場合は通所もされて在宅もかねてという、療法の就業のスタイルとっていいのでしょうか。

生きがいというのもやはりいってましたよね。

佐藤：生きがいってやはりね、そういうふうに言われるとやはり嬉しいですよ。

千葉：なかなか、生きがいはなんですかって聞くのはね、難しいのですけれども、やはりお話していくうちに生きがいという言葉がでてくるのは嬉しいですね。美貴さんね。

佐藤：嬉しい。りんごさん若いけど生きがいはどう。

りんご：今やっている動画サイトの監視業務は

佐藤：うん。

りんご：すごく難しいのですけど

佐藤：うん、うん。

りんご：でもその分すごくやりがいがあるって

佐藤：うん。

りんご：毎日が勉強で

佐藤：うん・うん。

りんご：分からないことも多いのですが分からないことを分かったって思える日がたくさんあって

佐藤：うん。

りんご：それがすごい、今生きがいです。

佐藤：昨日ちょうど勉強会があってりんごさんの話題がちょうどでてすごい一生懸命クライアントさんに質問とかしてくれてすごく実績としてもすごいでてるってことをべた褒めされてましたよね。

りんご：ありがたいです。

佐藤：すごい、こっちも嬉しくて、ちょっとうれし涙しちゃった。

千葉：ほんとですね。

佐藤：すごい素敵な話。

千葉：これは守秘義務業務とは関係ない話だと思うのですがけれども、りんごさんのデスク周りってというのは付箋だとかね、気を付けることはしっかりまとめられていますもんね。きれいに整頓してね。

りんご：はい。書いてます。

佐藤：ではそろそろリクエスト。

千葉：ちょっとそうですね。行きましょうか。

今日のリクエスト曲なのですけれども、神田さんが選んでくれました。

神田さん、この曲を選ばれた理由というか。

この曲がいいなと思ったところを教えてください。

神田：そうですね、歌詞の出だしに、Try To Be Free っていうのがでてくるのですけれども、それを日本語にすると、自由を目指せみたいな感じになると思うのですけれども、そういう内容の歌詞がちょっと良くて今回リクエストをしました。

千葉：何か補足することはないでしょうか。

神田：つい最近癌で亡くなられてしまったのですけれども。

千葉：この歌を歌われてる方。ですね。この方の作られた曲。

神田：はい。そうですね。

千葉：この方の作られた曲ですか。

神田：歌ってるのがこの方ですね。

千葉：なるほどなるほど。

佐藤：まだ曲名とか言っていないんでない。

千葉：はい。これから言いますよ。

佐藤：すいません。ごめん。せっかちで。

千葉：はい。では神田さんからリクエスト曲をいただきました。

和田光司さんのSevenです。

千葉：はい。今ですね。曲をかけていただこうと思ったら、どうやら音源と、なんていったらいいんでしょう。デッキっていったら古いでしょうか。

どうやらうまくかからないということで。

佐藤：えー。そっかあ。

千葉：今ですね、三角山放送局さんに来る前に札チャレで確認をして来たところなのですが。

佐藤：うんうん。

千葉：無事にかかって安心と置いていたら。

大丈夫ですね。あ、OKサインが出ました。ではお聴きください。

佐藤：前半に引き続きゲストに就労グループの神田さんと、ラジオネーム、りんごさんをお迎えしてお送りします。引き続きよろしくお願ひします。

神田：よろしくお願ひします。

りんご：よろしくお願ひします。

佐藤：さっき、音楽のところでもアクシデントあって、なんかすごい生放送って感じですよ。

千葉：生放送楽しいですよ。

佐藤：アクシデントがあると緊張しなくていいかもしれない。

毎回アクシデントがあるといいかもしれない。

千葉：確かに。それを楽しんでいくっていいことですね。

佐藤：前向きにいくよ。

千葉：前向きに。はい。

佐藤：では、引き続き就労グループのことを説明お願ひしてもいいですか。

千葉：そうですね。では、神田さんとりんごさんに札チャレと出会ってよかったなあって思うこととか、後は思い出に残ってることをちょっと紹介していただければと思ってます。

どうでしょう。神田さんからいいですか。

神田：はい。どうしても目的がないと無気力になった生活が夜型になりがちなので、札チャレに通ってることで防げてるっていいことなのかなあと思いますね。

佐藤：うん。

千葉：やはり自分の生活サイクルの維持ですかね。

神田：そうですね。

あとどうしても一人でいると暗くなっていくので、人に合うのは大事かなと思いますね。

千葉：皆集中して仕事はしてるけれどもやはり仲間に合うっていうのがよさそうですね。

神田：そうですね。

千葉：力になりますもんね。

神田：そうですね。はい。

千葉：はい。ありがとうございます。では、りんごさんは。

りんご：はい。私は、今まで、バイトもお仕事もしたことがなくて、札チャレが初めての仕事で、すごく社会のマナーだったり、あとは神田さんがおっしゃったように規則正しい生活。

私も結構夜型だったので、今はちゃんと早起きをして仕事の時間までに間に合うように職場に行ってちゃんと働けてるのがすごくよかったなあと思います。

佐藤：りんごさんって皆勤賞じゃない。

休んでいないよね。

りんご：そうですね。

佐藤：すごいんだよ。

千葉：皆勤賞なのですね。

すごい。改めてびっくりしちゃった。そうなんだ。

佐藤：見習ってください。

千葉：はい。頑張ります。ラジオをお聴きの皆さん、とってもへんな就労グループだなんて思われてるかとは思うのですがけれども。さあさあどうでしょう。将来ということを考えて。これから札チャレでどんなことをしてみたいかというところで今日のお話の締めに入っていこうかなと思ってるのですがけれども、どうでしょうか。

では、神田さんから。

感だ：これまでやってきた仕事の経験などを生かして更新の指導にあたっていききたいかなと思います。

佐藤：指導。いいねえ。先輩とか、神田さんが覚えたスキルとかを次の人にねつなげていくっていうのがいいよね。

千葉：そうですね。やはり中で繋がって人が育っていくっていうのが就労グループのね良さになっていきますよね。

佐藤：生き物だからね。仕事って。名言。

千葉：佐藤リーダーの名言残しましたね。仕事って生き物だなということで。

はい。

佐藤：暑さのせいでちょっとおかしくなったのかもしれませんが。

千葉：いえいえ、そんなことはありません。

ありがとうございます。さあ、この名言を胸に、りんごさんどうでしょう。

りんご：もっといろいろなお仕事をやってみたいなあって思います。はい。

千葉：今携わられてる業務とはまたぜんぜん違うものですね。

りんご：そうですね。いろいろなことをとにかくやりたいので。

千葉：うんうん。

りんご：はい。

佐藤：そういう人、私大好きなの。

千葉：うん、うん。美貴さんは。ほんとそうですね。

佐藤：キラっとしちゃった。

千葉：目がキラっとなってますもんね。

ラジオでお見せできないのが残念ですが。

佐藤：youstream 壊れて良かった。

youstream が壊れたわけじゃないのか。

千葉：どうなのでしょう。そうですね。チャレンジをする、興味があるっていうことがね。

今やられてる仕事においてもモチベーションになってきますしね。

そうですね。

今日はベテランの神田さんとりんごさんに会いとそして今の仕事とこれからのことって

ということをお話を聞いたところでしたけれども美貴さんどうですか。

締めの方。

佐藤：もう締めちゃうの。

千葉：まだ時間ありますね。

佐藤：まだ音楽もなってないよ。

千葉：ほんとですね。

佐藤：やだなあ。早く終わらせようとしてましたね。

千葉：いえいえそんなことはありません。

私はラジオ大好きです。

佐藤：そしたらちょっと宣伝したい。

今、札幌チャレンジドの就労グループでは引き続きメンバーを募集しているのですよ。

それでラジオを聞いている方、たとえば神田さんとかりんごさんの話聞いて私たちも皆さん

と一緒に仕事をしたいとか、そういうのがあったらぜひお問い合わせいただきたいのです

けど、千葉さんどこに電話したらいいですか。

千葉：札幌チャレンジドの電話番号をお伝えします。011-769-0843。

復唱いたしますね。011-769-0843 です。

佐藤：平日だけ。

千葉：そうですね。月曜から金曜の午前9時30分から

佐藤：うん、うん

千葉：午後の5時30分までです。

佐藤：メールアドレスとかも頑張って言っちゃいますか。

千葉：そうですね。メールアドレスお伝えしましょう。

佐藤：はい。お願いします。長いからやだ私。

千葉：メールアドレスです。

challenged@というふうに続きます。

challenged@s-challenged.jp となっています。

佐藤：今すぐ働きたいっていう方でなくてもどういったことをやってるのですかとか、そういった素朴な相談とかでもいいですよ。

千葉：そうですね。お問い合わせをいただければと思います。

佐藤：そうですね。札幌チャレンジドの就労グループっていうのは単に仕事をする場所ではなくて、私たちの活動内容を理解してくださっている、業務提携を結んでいるクライアントさんのお仕事の業務担当者として一人一人の特性とか能力を生かしながら潜在的なスキルとか社会人として育成する場であってほしいなあっていうのが私たちの考え方ですよ。どうです。そうってます。

千葉：そうですね。

佐藤：誘導尋問でしたね。

そうですね、そしてなにかお互いを尊重しあえて心身ともに人として成長していける場であるといいなあとというふうに思ってますし、それがなにか今回のね、ちょっとなにかいろいろあった今回で少しでも伝わればいいなあとと思ったのですけれども千葉さんいかがですか。

千葉：伝わると思えます。

佐藤：ほんと。

千葉：はい。

また、札幌チャレンジド通信続きますので、またその流れのなかで就労グループのメンバーをね、お呼びしていろいろなお話をしていけたらなっていうふうに思っています。

佐藤：来週は就労移行支援グループがゲストをお呼びして放送する予定です。

千葉：そうですね。

佐藤：私たちは当面お休み。

千葉：そうですね。当番が回って来ますまで。

佐藤：次までにまた噛まないように練習しましょう。

千葉：はい。練習しましょう。

佐藤：はい。では今週はこのへんで。来週もどうぞよろしくお願いします。

最後までお聞きいただきありがとうございました。さようなら。

千葉・神田・りんご：さようなら。